

2020 わかりやすい 豆柴のまとめ

2020年3月末の犬種豆柴の年間登録数はおよそ7,800頭で当協会登録犬種のトップです。2008年11月の豆柴公認以降の登録総数はおよそ22,300頭に達します。この成果は、世界でも類を見ない繁殖犬の全頭検寸による厳しい「認定制度」にも関わらず新犬種「豆柴」の完成を目指して純化固定に取り組み、膨大な先祖犬柴犬を合格させ認定制度を支えてきた多くのブリーダーの方々の、辛抱強い努力の賜物です。

犬種「豆柴」の完成までの過程と豆柴血統の見分け方についておさらいしましょう。

①「豆柴」とは

- 血統証の犬種欄が「豆柴」と表記されているもの。
- 先祖犬1～6の欄に体高**cmと記載されているもの。

②「豆柴」に犬種変更できるもの

- 犬種が柴犬で、先祖犬1～6に体高**cmと記載されているもの。

※一胎子申請書裏面の犬種変更を記載して申請



③最初から「豆柴」の血統証を発行できる条件

- 犬種が「豆柴」であり体高**cmと記載されているもの同士による交配。
※犬種が「豆柴」同士であっても、どちらかが検寸されていなければ、仔犬は柴犬です。
※どちらかの犬種が柴犬の場合も、仔犬は柴犬になります。

④注意すること

- 豆柴認定と記載された血統証の犬種は「柴犬」です。
※犬種「豆柴」の血統証では（豆柴認定**cm）の記載はなくなり、体高値（**cm）のみ記載されます。
※豆柴認定犬同士の交配で生まれる仔犬の犬種は柴犬です。

⑤誤解の多い用語についての説明

- 豆柴認定審査**……審査犬が純潔で健全な柴犬で、体高が認定基準の雄34cm、雌32cm以下であることを実測して合否を判定する審査です。「認定審査合格」が即犬種「豆柴」になることではありません。
- 犬種変更申請**……犬種「豆柴」になる条件が整っても自動的に犬種が「豆柴」に変わることはありません。必ず犬種変更申請が必要です。（一胎子申請用紙の裏面にある犬種変更に記載）
- マイクロチップ**……「豆柴」への犬種変更の登録および最初から「豆柴」の認定合格申請時にはマイクロチップの証明が必要です。（獣医師のサインがある装着証明書コピー添付）
- （未審査）**……認定審査は生後1年経過後でないと受けられないので、生まれた「豆柴」の仔犬はすべて未審査となっています。

*申請には左ページをよく読んで申請してください。